

第11回 岡山市子供海外派遣事業

派遣先：新竹市（台湾）
人数：13名
期間：7月25日～8月4日



←台湾大学(台北)

派遣先：富川市（韓国）
人数：14名
期間：7月25日～8月4日



韓国国立民俗博物館にて→

新竹の友人に
岡山の紹介



←富川市役所での
歓迎式と対面式



新竹市名物
ビーフン作りに
挑戦



←韓国料理体験



思い出の発表会→
(富川市)

←新竹市香山中学校
との親善試合



今回で第11回目となる岡山市子供海外派遣事業として、韓国・富川市（5回目）、台湾・新竹市（4回目）の2都市へ中学生2、3年生を派遣しました。さらに初めての派遣となるインド・プーネ市へ10名の中学生たちを18年3月25日から4月2日まで派遣しました。プーネの子どもたちとふれあいながら、ムンバイ市のインド門の見学、プーネ市内での学校訪問や文化研修などを行いました。

子ども国際サマーキャンプ2005

～ Our Message for Peace ～

岡山市の国際友好交流都市を中心とした子どもたちと、岡山市の子どもたちが岡山市立少年自然の家を中心に共同生活を行いました。開催中は、曹源寺での座禅・抹茶体験やスポーツ大会、岡山のまち探検等、様々な活動を行い言語や文化の違いを越えた交流を深めました。また、戦後60年の節目でもある昨年は、多様な文化への理解と平和をテーマとし、環境にも目を向けながら、次代を担う子どもたちから平和へのメッセージを発信した。

○内容：

各国合同の小グループを生活のベースとして、それぞれの都市の文化の紹介などしながら、地球人としての協調性を培うプログラムを実施。そして、世界平和と新しい地球時代を考え、地球人として行動する知恵と力をつける体験学習を行いました。6～7人の班が10班。各班には高校生の班リーダー1名に、大学生の班付スタッフ1名。プログラムの全体進行はプログラムリーダー2名が担い、大学生のプログラムスタッフがキャンプ全体の進行を支えた。

○プログラムの柱：

- ①アジアを中心とした各都市に友達を作り、さまざまな文化・習慣・価値観を学び合う。
- ②各都市の文化を伝え合うとともに、自然や街の音を感じる。
- ③手作り楽器の製作と全員での演奏、地球の音を作り出す。
- ④豊かなコミュニケーション能力を身につける。
- ⑤地球時代に生きることを考える。(多文化共生、世界平和、環境保全)

8/11(木) ようこそ岡山へ 出会いの日

ウェルカムパーティー 17:00～19:00

岡山からの参加者が企画・準備・運営する手作りの歓迎パーティーを開催。海外からの参加者を歓迎し、キャンプ参加者93人全員が一堂に会して翌日からのキャンプに向けた仲間づくりをスタートするとともに、キャンプを支えてくださっている関係者の皆さんとともに、キャンプの成功を願うパーティーを行った。



8/12(金) 私の声と音を伝えよう

キャンプ初日は交流ゲームや班ミーティングで仲間づくりをスタートさせた。また各都市で準備してきたパフォーマンスを披露するなど、お互いの都市への理解を深めた。

地球の集い① 最初はアイスブレイクのゲームや歌、仲間作りのゲームなどを行い、会場には笑い声があふれた。

地球の集い② 少年自然の家のいろいろな場所と施設の使い方を知るために、班ごとに少年自然の家に隠されたスタンプを探そうラリーを実施。

地球の集い③ 各都市の展示コーナーを発表。岡山チームはお手玉や剣玉、折り紙を並べたり、漫画や絵本も展示。また岡山の名所や名産の紹介と共に、岡山めぐりのモデルコースも展示。歴史や文化を丁寧に説明したパネルを展示した新竹市、レイや鳩の切り抜きを飾ったグアム、伝統楽器やお菓子を展示した富川市、伝統アクセサリーや布を飾り、香の演出もしたプーネ市。キャンプの間、展示コーナー・交流サロンは参加者の交流と理解を広げる場となった。各都市の音楽や踊りを紹介するカルチャーナイトは屋外で実施。グアムは歌を披露。富川市は伝統楽器の演奏と全員で振りをつけての歌。新竹市も伝統の歌を歌い、プーネ市は民族衣装で華麗に舞った。岡山市は浴衣と法被をまとい、三味線と太鼓、銭太鼓を披露し、わらべうた「なべなべそこぬけ」を参加者みんなで楽しんだ。夏の夜は次第に暮れ、スポットライトが幻想的に各都市のパフォーマンスを浮き上がらせ、カルチャーナイトは仲間たちへの興味と関心をかきたてる機会となった。



8/13(土) 岡山の音を体感しよう

静と動、対照的な時間と音を体感した。歴史のある曹源寺本堂で僧侶からのお話を聞き、座禅と抹茶を体験した。独特の日本の伝統文化にふれるひと時を過ごした。また、全体をLoveチームとPeaceチームの二つにわけ、班対抗、チーム対抗のスポーツ大会をライオンズクラブ国際協会336-B地区2リジョンの全面的なバックアップで実施。全体進行はスポーツ大会担当の大学生スタッフ。「スポーツに国境はない」を実感し、班全体が大きくまとまり始めたイベントとなった。





8/14(日) 地球の音を創ろう

地球の集い④ 各班の手作り楽器の演奏発表。有道惇先生（岡山大学名誉教授）の指導で、竹を使ってアジアの民族楽器を製作。慣れないナイフやのこぎり、かなづちを使いながら、班で教えあい、助け合いながら創り上げることができた。二人1組での作業は力を合わせることで、助け合うことを自ずと教えてくれたようだ。そして、午後には各班から持ち時間3分でオリジナル曲を発表した。

各都市からの平和メッセージ発表

各都市が平和について考えたことを発表した。すべての内容を理解し合えたわけではなさそうだったが、今までにない発表者の真剣なまな差しに参加者一同も平和について真剣に考える時間となった。岡山の平和メッセージプロジェクトチームが何を伝えたいかを考え、言葉にし、英訳したものに、本やインターネットで写真を集め、パワーポイントにより工夫して発表した。

8/15(月) 岡山の音を探しにいこう

地球の集い⑤ 岡山のまちをめぐり、さまざまな探検をした。全班がテープレコーダーを持参し、「岡山の音」を録音してくるようになった。そして報告会は各班が見つめてきた音は何の音かを当てるクイズ形式で行った。食事の時の食器の音、バスのドアが開まる音、電車の音、班員がラーメンを食べている音など、みんなが様々な違う体験をしてきていたが、街中で感じあった音、見つけあった音は不思議に分かり合うことができるものであった。

各都市代表者会議

この夜初めて、各都市の代表者が集まって会議を行った。次第に全体がまとまってきた反面、様々な問題も起こってきていた。今まで、口に出せずにいたことを出し合い、お互いを理解する場となった。「最後の一日を大切にしたい。」と、みんなで確認し合うことができた。

8/16(火) 明日の地球のために

地球まつり ゲストを含め161人が出席。

民族衣装を身にまとった新竹は踊り、プーネは伝統楽器による演奏、富川は楽器の演奏と踊り、グアムは歌、岡山は参加者を巻き込んで全員で踊った。次第に日もかげり始め、各班の代表1名ずつがトーチを手に平和の火文字「Love & Peace」に点火。5色の炎は感動的だった。炎を見つめながらみんなで歌ったテーマソング「Love & Peace」が、今までで一番確かな歌声で参加者の心に響いた瞬間でもあった。



8/17(水) 別れと出発の日

早朝、フェスティバル旗の前で参加者全員で記念撮影。朝食を終え、片付けと出発準備、次第に別れの時間が近づいてきた。富川市、新竹市、プーネ市、グアムはそれぞれのスケジュールに合わせて、時間差の出発となった。誰が言うでもなく、一つ一つの都市の出発をみんなで見送った。抱き合い、硬い握手を交わし、涙の別れが繰り返された。「さようなら」ではなく、「また会おう」、「きっと会おう」と言葉を交わしあった。いろいろなことがあった。けんかもしたし、意見もぶつかった。伝えられない苦しみも味わった。だからこそ、もっと知りたい、もっと近づきたいという思いから親しみもわいただろう。共に過ごした6日間、参加者の心の中に「Love & Peace」が刻まれた。

子ども国際サマーキャンプ2005及び岡山市子供海外派遣合同報告会

夏休みに開催した二つの事業の参加者が、何を学び何を感じたかを広く市民に報告するとともに、平和について、自分達に何ができるのかを市民とともに考え合い、今後につなげていくという目的で9月4日（日）西川アイプラザ4階「友好交流サロン」で開催した。

子ども国際サマーキャンプ 2005テーマソング 「Love and Peace」

Love & Peace

We never get back in the history
What did we want What did we look for
We'll make up our world in the future
What can we do It's up to you
This is our message for tomorrow
You are my friends always in my heart
Remember Forever

Love & Peace Everybody
Love & Peace To be happy
Love & Peace Both you and me
Love & Peace Live close together

コスタリカ駐在特命全権大使市長表敬

(平成17年4月4日)

平成16年9月にコスタリカ駐在特命全権大使として着任した鷺見良彦大使が、一時帰国の際に来岡され、市長を表敬訪問しました。



カナダからの国際交流員が退職

(平成17年7月28日)

カナダから国際交流員として西川アイブラザ友好交流サロンに勤務していたアンドレア・キャンベル氏が、任期満了に伴い平成17年7月28日をもって退職しました。



中国・洛陽市から国際交流員来岡

(平成17年4月7日)

中国洛陽市から国際交流員として魏海山氏が来岡。任期は1年で、国際交流事業分野で活躍しました。



「岡山市・富川市友好美術展」開催

(平成17年8月4日～8月8日)

岡山市のアジア芸術文化交流協会と、韓国・富川市美術協会が平成14年から毎年、両市で相互に開催している「岡山市・富川市友好美術展」が昨年度は岡山市で開催された。富川市美術協会から18名が来岡し、岡山市長を表敬訪問しました。



岡山市外国人市民会議開催

岡山市外国人市民会議は外国人市民の意見や要望を市政に反映させ、市民間の相互理解、多文化共生社会の実現並びに市政の発展に寄与することを目的としています。公募で選ばれた委員8名で構成されており、今年は計3回の会議を開き、「ことばと暮らし」をテーマに身近な行政サービスや住宅について話し合いました。



友好交流サロン

外国語会話教室と日本語教室

外国語会話教室は「ハングル」(入門・初級)「スペイン語」(入門・初級)「中国語」(入門・初級)「シニア英会話」(水曜・金曜)の8教室を設けています。特にシニア英会話が抽選で受講生を決めるほど大人気です。また、西川日本語教室の名前で親しまれている「日本語教室」は受講生のレベルに応じて、午前・午後・夜間それぞれ7～8グループの編成で実施しています。

ハングル会話教室



入門・初級
鄭 喜汀 先生

スペイン語会話教室



入門
黒沢 カルメン 先生

中国語会話教室



入門
河田 治 先生

シニア英会話教室



水曜・金曜教室
デボラ・マルク 先生



初級
アリアス・スレマ 先生



初級
張 興艶 先生

日本語教室

昨年から夜間の教室を増設したため、毎週木曜日1日に延べ約130名の受講生が熱心に勉強しています。



熱のこもった授業風景



国際交流ふれあい講演会

17年度は、4月、12月を除いて10回開催しました。講師はアジア、ヨーロッパ、アフリカと世界各地から幅広くお願いし、毎回パワーポイントなどの器材を使い、その国の民族衣装など具体的なものを見せながら、国の紹介や自分自身の体験談などについてお話いただきました。各国の講師の楽しい講演会を通じて、岡山市民の国際理解の一助となりました。



5月 アンドレア・キャンベルさん
「加奈陀人から見た岡山…いいとこ!？」



6月 マハマドゥ・タンジャさん
「グローバル化と日本」(セネガル)



7月 マティ・クリスティナさん
「ルーマニアの伝統的な文化」



8月 ベネガス・アルバロさん
「愛するチリ -The Chile I love-」



10月 チャンリト・デムドゥアンさん
「ほほえみの国-タイ」



11月 アルスヘイム・サレイマンさん
「サウジアラビアの不思議」



9月 アンヌ・エテブさん
「フランス-日本 ステレオタイプと真実」



1月 アキンラディ・ダミロラさん
「ナイジェリアについて
～民族・文化・資源など～」



2月 全円子さん(左)・孫泰欽さん(右)
「国際化-在日を生きる」



3月 魏 海山さん
「中日貿易の回顧と展望」

「あくら」の発行



「あくら」を岡山市のホームページからご覧いただけます

http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/salon/akura/akura_index.htm

「あくら」は3ヶ月に一度、日本語、英語、中国語、ハンゲル、スペイン語の5ヶ国語で作成している外国人向け情報紙です。外国人市民を含むボランティア編集員の方が、地域のイベント・岡山の著名人などの記事や内容を決め、取材や原稿づくりを行っています。新しいメンバーを迎え、ますます充実していく「あくら」に今後ご期待ください。



4ヶ国語に訳された「あくら」



あくら編集会議の様子



和気藤公園にて研修視察会議

ボランティア活躍記

「ボランティアでコスタリカ大統領と握手！」



(左が原田さん) 歓迎レセプションにて

ボランティア通訳・翻訳登録者 原田 寛子

「コスタリカ大統領一行が来岡」・・・こんな舞台で通訳をさせてもらえるなんて夢のようだ。貴重な経験になると期待に心を膨らませていた反面、プレッシャーいっぱい通訳の当日を迎えた。しかし、緊張はすぐに吹き飛んでしまった。担当のテーブルは陽気で明るく、友好的なコスタリカ人は岡山の方々とすぐに打ち解け、すぐに明るい雰囲気にもまれたからだ。ご一緒した広報部長のカロリーナ・ムリージョさんは若い女性で大統領と共に政治を支えている。お話をしている、女性としてとても刺激を受けた。生で見るアベル・パチェコ大統領

はとても威厳があり存在感があった。医者として、詩人としての経歴を持つ大統領は話す言葉ひとつひとつに重みがある。夜のセレモニーでのスピーチは感動的で、聞く人が吸い込まれるようだ。最後にどさくさの列にまぎれて、大統領に握手までしていただいたのは一生の思い出となった。こんな貴重な経験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいだ。

編集会議にて (右が岡さん)→



「あくら」編集スタッフに参加して

あくら編集委員 岡 康次郎

両親の介護のため、5年前に故郷の岡山に帰ってきました。30年ぶりの岡山で社会とのつながりをどのように取り戻そうかと考えていた時、グッドタイミングで中学生時代のクラスメートから「あくら」のボランティア編集委員に加わらないかと誘われました。この仕事に参加して実感したのは、岡山の地理・歴史・文化を外国人に紹介することは簡単そうで奥が深いということ。文献だけに頼るのではなく自分の足で県内各地を取材することを通じて、私の知らない岡山を再発見する日々でもあります。昨秋は岡山大学に留学中のモンダルさん親子（バングラデシュ出身、ボランティア編集委員の仲間）と一緒に備中松山城に登りました。平地のバングラデシュから見ると起伏に富んだ景色は自然の驚異に感じられたようで大変喜ばれました。国際交流員の魏さん（中国）から「大人300円、小人150円」の「小人」は何と読むのか質問されたこともあります。残念ながらいまだに正解が分かりません。外国人との何気ないふれあいから岡山のこと、日本のことを再考できるのもこの仕事の魅力の一つです。

インターネットの無料サービス

昨年度はパソコンを2台新しく購入し、外国人市民の方をはじめ、市民の皆様にご好評いただいています。



サロン情報をメールでお知らせ

国際交流関係のイベント情報をメールマガジンの形で、月に2回程度メール登録者へお知らせしています。

ご希望の方は下記へご連絡ください。

E-mail: oifa@po1.oninet.jp

外国語図書の貸出

友好交流サロンでは、各種外国語書籍2000冊、雑誌20種類、新聞10種類を所蔵し、貸出（一部対象外のものもあります）をしています。

ホットミニ情報

- ※岡山風クラブと交流のあるドイツ・ハノーバーカイトクラブから会員2名が来岡し、それに合わせて岡山市長を表敬訪問しました。（平成17年4月11日）
- ※岡山市の女声コーラスグループ「華」が、アメリカ・サンフランシスコで開催された第38回「北カリフォルニア桜祭り」に参加の際サンノゼ市を訪れ、日系老人ホーム友愛会センターで歌声を披露し、サンノゼ市民との友好を深めました。（平成17年4月25日）
- ※学校法人加計学園が招へいた「学生文化研修団」（アメリカ・ブラジル）一行30名が岡山市助役を表敬訪問しました。（平成17年7月1日）
- ※国際生活体験岡山地区委員会が招へいた「アメリカ高校生グループ」一行10名が岡山市教育委員会を訪問しました。（平成17年7月6日）
- ※岡山西ライオンズクラブ受入れのフィンランド人高校生ミッラ・ハーグネース氏が、「Youth Exchange」青少年交換事業により来岡し、岡山市助役を表敬訪問しました。（平成17年7月28日）
- ※2005年1月から開始したESD「国連持続可能な開発のための教育の10年」を推進するための課題と方策について議論を行うワークショップが岡山市で開催され、これに伴い、公式招待者7名が岡山市助役を表敬訪問しました。（平成17年10月28日）
- ※岡山理科大学付属高等学校と姉妹校締結を結んでいる韓国・富川市正明（ジョンミョン）高等学校の生徒20名、引率者1名が研修と交流のため来岡し、岡山市長を表敬訪問しました。（平成18年2月7日）

岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課

TEL : 086-803-1112

FAX : 086-225-5408

E-mail: kokusaika@city.okayama.okayama.jp

URL: <http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusaindex.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内

TEL : 086-234-5882

FAX : 086-234-5878

E-mail : oifa@po1.oninet.jp